小学校五・六年生　「原稿用紙の使い方」　ワークシート①

名前

原稿用紙の使い方を理解し、正しく使うことができるようにしましょう。

★次の文を原稿用紙に正しく書き直しましょう。

与野の大カヤ

小鳥のさえずりが聞こえています。見上げると、天までとどきそうな大きな木が立っています。どっしりと根をはり、太いみきには、たくさんのしわがあります。「わあ、でっかいなあ。」「すごいね、太いみき。おすもうさんのまわしみたいなものがついているよ。」カヤの木を見上げた二人は、声を上げました。

文章の始まりは？

句点や読点はどこに書く？

会話文の書き方は？

								（	
								名	
								前	
								を	
								書	
								く	
								行	
								）	
								○	
								○	
								○	
								○	

★チェックしましょう。できていたら（　　）に○を付けましょう。

①文章の始まりや、段落の始まりは一字下げる。（　　）

②「かぎかっこ」は一ます目から書き始める。（　　）

③「かぎかっこ」が二行以上にまたがるときは、二行目以降は一字下げて書く。（　　）

④読点（、）や句点（。）が行の先頭になってしまう場合は、前の行の最後のますに文字といっしょに書く。（　　）

⑤段落が変わる前や、会話文が始まる前は、行の途中で文が終わってもそのままにする。（　　）

⑥会話文に文が続く場合は、段落を変えずに一ます目から書き始める。（　　）

「じっくり　しっかり　くり返し」の三ページを参考にしてください。

（出典「さいたま市道徳郷土資料集」の作品を一部改訂）